

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1970900161		
法人名	医療法人忠友会		
事業所名	グループホーム武田の里		
所在地	山梨県韮崎市神山町北宮地8		
自己評価作成日	平成28年8月20日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/19/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/19/index.php</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会		
所在地	甲府市北新1-2-12		
訪問調査日	平成28年9月15日(木)		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医療法人として、診療所・デイケア・訪問介護、居宅支援事業所などを併設しています。自然に囲まれた環境のため住宅が少なく、地域住民との交流は少ないですが、多機能な事業所、また医療法人としての特性を活かし、日々のケアにあたっています。利用者様の「その人らしさ」を大切に、グループホームへ入居してもご自宅と同じように自分らしい自由な生活が送っていただけるようにと職員が一体となって取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は、北に八ヶ岳、南に富士山を望む田園風景が広がる閑静な環境にある。向かいには中学校が有り、管理者が認知症サポーターリーダー養成講座の講師として訪問したり、利用者の家族が学校の帰りに訪れ日頃から交流を行っている。1階のフロアのベランダは、戸外に出て楽しむ場所となっており、今迄の生活習慣が継続できる事業所となっている。同敷地内には、医療法人が母体のクリニック等の事業所が併設しているので、看取り介護や緊急時対応の連携も取りやすく、家族も安心して利用できる事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

事業所名

グループホーム武田の里

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名( すみれ )	ユニット名( さつき )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所内に運営理念を掲示すると共にミーティング等を通じて、管理者・職員の間で理念を共有し、利用者がその人らしく暮らせるように支援している。	事業所内に運営理念を掲示すると共にミーティング等を通じて、管理者・職員の間で理念を共有し、利用者がその人らしく暮らせるように支援している。	今迄の生活習慣や地域とのつながりが継続して行けるように、「その人らしく支援します」を共通理念とし、職員は個々に、その人らしさをミーティング時に管理者に伝えていく。管理者は、利用者一人ひとりについて検討をして、ミーティング時に申し送りノートで職員と情報を共有して実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の福祉祭りに参加したり、図書館などの地域資源を活用している。また学生や障害者施設からの職場体験などの受け入れもおこなっている。	地域の福祉祭りに参加したり、図書館などの地域資源を活用している。また学生や障害者施設からの職場体験などの受け入れもおこなっている。	法人併設のデイケアのホールを地域に貸し出したり、学校帰りの利用者の家族が立ち寄りしている。管理者は認知症サポートリーダー養成講座の講師として中学校に訪問し、事業所への理解を深めてもらっている。散歩時には、農作業の方と会話をするなど、日常的に交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	市でおこなっている認知症ネットワークや、認知症キャラバンメイトの取り組みに協力し、管理者が地域住民や中学生向けに認知症講座などをおこなっている。	市でおこなっている認知症ネットワークや、認知症キャラバンメイトの取り組みに協力し、管理者が地域住民や中学生向けに認知症講座などをおこなっている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市の介護保険課、地域包括支援センター、民生委員の方などに出席していただき活動を報告している。また、毎回事例などを挙げて検討会を開き、外部からの意見を聞くようにしている。	市の介護保険課、地域包括支援センター、民生委員の方などに出席していただき活動を報告している。また、毎回事例などを挙げて検討会を開き、外部からの意見を聞くようにしている。	2か月に1回開催される運営推進会議では、民生委員から認知症の方への対応方法や携帯電話を持っている利用者についての対応などを話し合い、入居者の介護状況や自己評価・外部評価の結果についても話し合っている。参加できない家族には、面会時に議事録を見てもらっている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	研修などを通じて市とは密接なコミュニケーションを取っている。困っている方について、市からの相談をきっかけに入居していただくケースも多い。関係良好である。	研修などを通じて市とは密接なコミュニケーションを取っている。困っている方について、市からの相談をきっかけに入居していただくケースも多い。関係良好である。	市の担当者からは、外国から帰国した利用者の受け入れについての相談や紹介者も多く、連携を密に取り、協力関係を築いている。また、市主催の研修会にも積極的に参加している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間は防犯のために玄関の施錠はしているが、それ以外の時間は常に開放している。身体拘束もできるだけしないように、ケアしている。スピーチロックも同様。	夜間は防犯のために玄関の施錠はしているが、それ以外の時間は常に開放している。身体拘束もできるだけしないように、ケアしている。スピーチロックも同様。	ミーティング時や日々の係わりの中で、ケアを振り返り、気持ちを押さえつけたり、無意識の内にスピーチロックをしていないか話し合い、拘束をしないケアを心掛けている。また、内部研修時には、身体拘束をしないケアについての具体的な事例を確認している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者・職員共に虐待がないように注意を払っている。入居者以外に関して疑わしい場合については、地域包括支援センターなどに相談するようにしている。	管理者・職員共に虐待がないように注意を払っている。入居者以外に関して疑わしい場合については、地域包括支援センターなどに相談するようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見制度を活用している入居者もいるため、スムーズに利用できるようなお手伝いしている。	日常生活自立支援事業や成年後見制度を活用している入居者もいるため、スムーズに利用できるようなお手伝いしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	口頭で契約内容について説明し、納得していただいたうえで契約を結んでいただいている。不安や疑問点がないか、こちらから尋ねるようにしている。	口頭で契約内容について説明し、納得していただいたうえで契約を結んでいただいている。不安や疑問点がないか、こちらから尋ねるようにしている。		

自己評価および外部評価結果		事業所名	グループホーム武田の里			
自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(すみれ)	ユニット名(さつき)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者・家族とは日々の面談にて意見を求めているほか、直接言いづらいことに関しては、無記名で投書できるようにしている。また、併設事業所の事務所でもお話をうかがっている。	利用者・家族とは日々の面談にて意見を求めているほか、直接言いづらいことに関しては、無記名で投書できるようにしている。また、併設事業所の事務所でもお話をうかがっている。	家族や利用者からの要望や意見等をミーティング時に議題として取り上げ、法人としての対応及び事業所としての取り組みに反映させている。また、欠席者には、面会時等に閲覧できるようにしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングなどにおいて意見や提案を出してもらおうようにしている。簡単な事柄については、日々の業務の中で直接聞きながらその場で対応している。スタッフの意見は必ず伝えている。	ミーティングなどにおいて意見や提案を出してもらおうようにしている。簡単な事柄については、日々の業務の中で直接聞きながらその場で対応している。スタッフの意見は必ず伝えている。	職員からの要望や意見は、ミーティング時やメールで管理者に伝え、意見が言い易い工夫をしている。月1回開催される、法人の管理者会議では、建物の不具合(ドア)事業所周りの草取りなどの意見が出され、草取りについては、併設のスタッフが対応した。法人としての処遇を含む改善点や事業所としての取り組みに反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	有給休暇などは毎月取れるような体制を作っている。また研修は業務扱いで気軽に行けるように配慮している。	有給休暇などは毎月取れるような体制を作っている。また研修は業務扱いで気軽に行けるように配慮している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修については回覧などで周知し、参加者を募っている。認知症実践者研修受講も勧めている。外部での研修に参加しづらい職員のために、内部研修などの機会も設けている。	外部の研修については回覧などで周知し、参加者を募っている。認知症実践者研修受講も勧めている。外部での研修に参加しづらい職員のために、内部研修などの機会も設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市の活動や県のグループホーム協会、またケアマネ同士の集まりにも参加している。さまざまな視点が持てるように、同業者との交流は多く持つようにしている。	市の活動や県のグループホーム協会、またケアマネ同士の集まりにも参加している。さまざまな視点が持てるように、同業者との交流は多く持つようにしている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご本人の困りごとや不安な点、要望などについて必ず確認している。入居してからも在宅時と同じようにその人らしい暮らしが継続できるように、支援している。	入居前にご本人の困りごとや不安な点、要望などについて必ず確認している。入居してからも在宅時と同じようにその人らしい暮らしが継続できるように、支援している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族に関しても上記対応をおこなっている。ご本人、ご家族との意見に違いがある場合にも、お互いに納得ができる形をとれるように支援している。	ご家族に関しても上記対応をおこなっている。ご本人、ご家族との意見に違いがある場合にも、お互いに納得ができる形をとれるように支援している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その人にとって必要な支援については必ず確認をおこなっており、グループホーム以外のサービスが必要な方には、外部のサービスも活用している。	その人にとって必要な支援については必ず確認をおこなっており、グループホーム以外のサービスが必要な方には、外部のサービスも活用している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	元気な方には掃除や食事関連のことなど、家事の手伝いなどをしていただき、役割を持っていただいている。動作が難しい方でも何かその人らしいことが見つけられるよう、配慮している。	元気な方には掃除や食事関連のことなど、家事の手伝いなどをしていただき、役割を持っていただいている。動作が難しい方でも何かその人らしいことが見つけられるよう、配慮している。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

グループホーム武田の里

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(すみれ)	ユニット名(さつき)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	受診などにはできるだけご家族にも同行していただいたり、無理のない範囲で外食や、家に帰る機会なども作っていただき、ご本人との関係が途切れないように支援している。	受診などにはできるだけご家族にも同行していただいたり、無理のない範囲で外食や、家に帰る機会なども作っていただき、ご本人との関係が途切れないように支援している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前に通っていたデイサービスに遊びに行く機会を作ったり、なじみの美容院へ行けるようになるなど、その人ごとに対応している。	入居前に通っていたデイサービスに遊びに行く機会を作ったり、なじみの美容院へ行けるようになるなど、その人ごとに対応している。	今迄の生活習慣が継続できるように、家族の了解のもと、携帯電話の使用や行きつけの美容院・馴染みの洋品店にタクシーで行く等関係の継続に努め、これまでの生活が変わらないように配慮し、事業所での生活が単調化しないように工夫している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲の良い方と過ごせるように座席を配置したり、一緒に散歩に出かけられるようにしている。	仲の良い方と過ごせるように座席を配置したり、一緒に散歩に出かけられるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も時間があれば面会に行ったり、お見舞いなどに行っている。必要があればいつでも相談してくださいと、ご家族にも伝えている。	サービス終了後も時間があれば面会に行ったり、お見舞いなどに行っている。必要があればいつでも相談してくださいと、ご家族にも伝えている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりとゆっくり会話できる時間を作りながら、意向の把握に努めている。意志の確認が困難な方は、ご家族に元気な頃の姿を聞いたりしながら、その人らしい生活のあり方は常に模索している。	一人ひとりとゆっくり会話できる時間を作りながら、意向の把握に努めている。意志の確認が困難な方は、ご家族に元気な頃の姿を聞いたりしながら、その人らしい生活のあり方は常に模索している。	夜勤時、日常の会話の中から把握するように努めているが、その都度変わる事もあるので、表情などからその真意をさりげなく確認するように努めている。意思疎通の困難な利用者には、家族等から情報を得る様にし、理念でもある「その人らしい暮らし」に近づけるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にできるだけご自宅を訪問し、入居してからでもそれまでの生活習慣などが大きく変わることをないように支援している。施設の決まりを強制しないようにしている。	入居前にできるだけご自宅を訪問し、入居してからでもそれまでの生活習慣などが大きく変わることをないように支援している。施設の決まりを強制しないようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する方等の現状の把握に努めている	利用者の状態は日々変わっていくため、その日、その時に合わせた柔軟な対応を心がけている。	利用者の状態は日々変わっていくため、その日、その時に合わせた柔軟な対応を心がけている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	必要に応じて医師や理学療法士からの助言もいただきながら、本人にとって有効な介護計画を作るようにしている。介護計画以外にも、最適なケアについては日々検討している。スタッフも率先して提案している。	必要に応じて医師や理学療法士からの助言もいただきながら、本人にとって有効な介護計画を作るようにしている。介護計画以外にも、最適なケアについては日々検討している。スタッフも率先して提案している。	法人併設のデイケアのリハビリを利用している利用者があるので、理学療法士が参加している。職員は日常の様子をメモして情報を管理者と共有し介護計画に反映している。プラン見直し時には、状況の変化と共に本人や家族の思いを取り入れ、アセスメントを含め全職員モニタリング、カンファレンスを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の個別の記録は出勤時に必ず確認することとしている。またそれ以外にも特別なことについては、別途連絡事項として閲覧できるようにしている。	日々の個別の記録は出勤時に必ず確認することとしている。またそれ以外にも特別なことについては、別途連絡事項として閲覧できるようにしている。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

グループホーム武田の里

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名( すみれ )	ユニット名( さつき )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医師による訪問診療や、併設診療所のリハビリなども含めて、サービスがグループホーム内だけで終わるのではなく、柔軟な支援ができるように心がけている。	医師による訪問診療や、併設診療所のリハビリなども含めて、サービスがグループホーム内だけで終わるのではなく、柔軟な支援ができるように心がけている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の自立支援事業を活用していただいたり、読書が好きな方には地域の図書館を利用してもらうなどしながら、豊かな暮らしができるように支援している。	地域の自立支援事業を活用していただいたり、読書が好きな方には地域の図書館を利用してもらうなどしながら、豊かな暮らしができるように支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設診療所はあるが、主治医の変更を強制するのではなく、これまでのかかりつけ医にも通っていただき、入居中の様子などをケアマネより医師に随時伝えている。とくに重度認知症の場合には専門医と連携している。	併設診療所はあるが、主治医の変更を強制するのではなく、これまでのかかりつけ医にも通っていただき、入居中の様子などをケアマネより医師に随時伝えている。とくに重度認知症の場合には専門医と連携している。	本人や家族が希望するかかりつけ医となっているが、遠方の利用者には、事業所の医師がかかりつけ医となっている。受診時は、基本家族対応ではあるが、都合がつかない場合等は、施設の職員が対応し、随時、状況を家族に連絡する体制となっている。また、看取りについては、事業所の医師が対応する事になっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護資格を持った職員もいるため、専門的に体調管理できるように努めている。緊急時には併設診療所の医師や看護師にも対応していただいている。	看護資格を持った職員もいるため、専門的に体調管理できるように努めている。緊急時には併設診療所の医師や看護師にも対応していただいている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院中は何度か訪ねさせていただき、病院の相談員や看護師から、正確な情報をいただくようにしている。病院関係者とは研修などで一緒にすることも多く、関係は良好である。	入院中は何度か訪ねさせていただき、病院の相談員や看護師から、正確な情報をいただくようにしている。病院関係者とは研修などで一緒にすることも多く、関係は良好である。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化、看取りへの対応の指針について入居時に全員に説明しているほか、実際にその時が来た場合には再度、医師も交えて終末期に向けたケアの方針を確認し合うようにしている。現在も数名が看取り予定である。	重度化、看取りへの対応の指針について入居時に全員に説明しているほか、実際にその時が来た場合には再度、医師も交えて終末期に向けたケアの方針を確認し合うようにしている。現在も数名が看取り予定である。	入居時には、医師も立ち合い、重度化した時の対応を家族と交えて話し合い、希望に添える対応となっている。また、緊急時及び看取り時には、医療法人クリニックの医師、看護師、事業所の職員が連携をとり、事業所が対応しうる支援方法を踏まえて、チームで話し合っ家族の安心感が得られるよう取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修などを通じて応急法について学んでいる。判断が難しい際には併設診療所の医師、看護師からも助言、ご指導をいただき、正しい判断が行えるように努めている。	研修などを通じて応急法について学んでいる。判断が難しい際には併設診療所の医師、看護師からも助言、ご指導をいただき、正しい判断が行えるように努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的防災訓練をおこなっている。近隣住民にもいざという時のお願いはしている。	定期的防災訓練をおこなっている。近隣住民にもいざという時のお願いはしている。	事業所独自に年2回の防災訓練を行い、内1回は、夜間想定訓練を実施し、併せて緊急連絡網体制を確認している。管理者及び事務長は移動時間10分程度に自宅があるため、即、事業所に駆けつけることが可能となっている。事業所として備蓄品の用意があり、地域の協力体制について検討している。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりに合わせて自尊心を傷つけない声かけを行うように心がけている。居室にうかがう際にもノックをしたり、声をかけてから行っている。また出来るだけ苗字でお名前を呼んでいる。	一人ひとりに合わせて自尊心を傷つけない声かけを行うように心がけている。居室にうかがう際にもノックをしたり、声をかけてから行っている。また出来るだけ苗字でお名前を呼んでいる。	年長者であることから、名前で呼び、声掛け入室、トイレ誘導はさりげなく、ドアを閉めてのおむつ交換等々、敬意をもった対応と自尊心を傷つけない声掛け、自己決定しやすい言葉かけの基本を職員全員が共有し対応に心掛けている。	

自己評価および外部評価結果		事業所名	グループホーム武田の里			
自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(すみれ)	ユニット名(さつき)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ユニツ名(すみれ) 一方的に決めるのではなく、本人に尋ねるようにしている。判断が難しい方であっても、本人の気持ちになって考えるようにしている。	ユニツ名(さつき) 一方的に決めるのではなく、本人に尋ねるようにしている。判断が難しい方であっても、本人の気持ちになって考えるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	全員、生活習慣が違うのは当たり前のことなので、自由に生活を送れるように支援している。画一的なレクなどの強制もしていないため、一人ひとりがそれぞれのペースで生活をしている。	全員、生活習慣が違うのは当たり前のことなので、自由に生活を送れるように支援している。画一的なレクなどの強制もしていないため、一人ひとりがそれぞれのペースで生活をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着たい服をご自身で選んでいただいたり、欲しい物があればご家族にも協力をお願いしながら、その人らしい姿で過ごせるように支援している。	着たい服をご自身で選んでいただいたり、欲しい物があればご家族にも協力をお願いしながら、その人らしい姿で過ごせるように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたい物を探ねて用意させていただいたり、出来る方には配膳や片づけ、食器洗いなどを手伝っていただいている。ご家族の協力も得ながら、好きな物を楽しく食べられるように心がけている。	食べたい物を探ねて用意させていただいたり、出来る方には配膳や片づけ、食器洗いなどを手伝っていただいている。ご家族の協力も得ながら、好きな物を楽しく食べられるように心がけている。	献立は、希望に沿うようにし、嫌いな物があれば違う物と交換する工夫がなされ、好みの物を自分で用意することもでき、出来る限り柔軟な対応を心掛けている。また、在宅時の生活同様、野菜の皮むきや台拭き等、役割として、手伝っている人もいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その日に食べた物、摂取した水分量を確認し、医師とも相談しながら栄養不足や脱水が起きないように注意している。普通の食事が食べられない方には、きざみやミキサー食を用意している。	その日に食べた物、摂取した水分量を確認し、医師とも相談しながら栄養不足や脱水が起きないように注意している。普通の食事が食べられない方には、きざみやミキサー食を用意している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯磨きや入れ歯の洗浄を促している。自分で出来ない方については、介助させていただいている。	歯磨きや入れ歯の洗浄を促している。自分で出来ない方については、介助させていただいている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	尿意がない方には時間で誘導をおこなっているほか、一時的に身体低下などでおむつを使用していた方であっても、回復したら外している。夜間間に合わない方には、お部屋にポータブルを設置している。	尿意がない方には時間で誘導をおこなっているほか、一時的に身体低下などでおむつを使用していた方であっても、回復したら外している。夜間間に合わない方には、お部屋にポータブルを設置している。	日頃、接する中で自尊心に配慮し、さりげなくトイレ誘導を行い、可能な限りトイレでの排泄を大切に自立に向けた支援をしている。現在、重度の利用者を除く入居者がリハビリパンツを使用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	下剤だけに頼るのではなく、牛乳、ヨーグルトや、食物繊維の多い食品をすすめるなど、さまざまにアプローチしている。	下剤だけに頼るのではなく、牛乳、ヨーグルトや、食物繊維の多い食品をすすめるなど、さまざまにアプローチしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	急変する可能性や他の方の見守りもあるため、職員が一人の時間帯は避けていただいているが、それ以外ではできるだけ希望に添えるように心がけている。	急変する可能性や他の方の見守りもあるため、職員が一人の時間帯は避けていただいているが、それ以外ではできるだけ希望に添えるように心がけている。	週2回の入浴日がある。立位に不安のある人は、リフトが設置され不安なく移動が行えている。また、入浴剤や「ゆず湯」等の季節感を味わうこともでき喜ばれている。気に入ったシャンプー、石鹸等は自分で用意している。個々に合ったくつろいだ入浴ができるように支援している。	

自己評価および外部評価結果

事業所名

グループホーム武田の里

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名( すみれ )	ユニット名( さつき )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	起床、就寝時間などは決めていないため、入居前の習慣に近い状態で過ごせるように、自由にしていただいている。	起床、就寝時間などは決めていないため、入居前の習慣に近い状態で過ごせるように、自由にしていただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとり手渡し、あるいは介助をして飲み忘れがないようにしている。薬の内容については必ず確認し、症状の変化への対応や副作用も含めて、迅速に医師に相談できるような体制を作っている。	一人ひとり手渡し、あるいは介助をして飲み忘れがないようにしている。薬の内容については必ず確認し、症状の変化への対応や副作用も含めて、迅速に医師に相談できるような体制を作っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	全員に同じレクを強制するのではなく、一人ひとりが違った楽しみを持っているほうが当たり前と考え、入居前にしていたこと、好きなことを継続できるように支援している。	全員に同じレクを強制するのではなく、一人ひとりが違った楽しみを持っているほうが当たり前と考え、入居前にしていたこと、好きなことを継続できるように支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している	散歩やドライブ、外でお茶を飲む機会などを作っている。また希望によってはご家族の協力も得ながら、本人の行きたい場所へ行けるように支援している。元気な方ではタクシーで自由に出かける方もいた。	散歩やドライブ、外でお茶を飲む機会などを作っている。また希望によってはご家族の協力も得ながら、本人の行きたい場所へ行けるように支援している。元気な方ではタクシーで自由に出かける方もいた。	居間兼食堂の前には、ベランダが設置され、食後のお茶や焼き肉等を行うことがある。また、家族の了解のもと、デパート等へ買い物に行く利用者等、柔軟な対応を行っている。桜の時期には、花見。お盆には、近くで行われる花火大会をベランダで見たり、法人併設のデイケアでボランティアによる催し物がある時には、一緒に参加できるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	紛失の可能性も考え、普段は現金は事務所で預からせていただいているが、買い物かしたときにはそこからお渡しして好きな物が買えるように対応している。自動販売機などには一緒に買いに行くこともある。	紛失の可能性も考え、普段は現金は事務所で預からせていただいているが、買い物かしたときにはそこからお渡しして好きな物が買えるように対応している。自動販売機などには一緒に買いに行くこともある。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話がかかけたい方には使っていたらいい。携帯電話を使う方もいる。字が書ける方には年賀状や手紙などを書けるように、お手伝いもさせていただいている。	電話がかかけたい方には使っていたらいい。携帯電話を使う方もいる。字が書ける方には年賀状や手紙などを書けるように、お手伝いもさせていただいている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花などを飾ったりしながら、居心地の良い空間が作れるように心がけている。飾り付けなどを一緒に手伝っていただくこともある。	季節の花などを飾ったりしながら、居心地の良い空間が作れるように心がけている。飾り付けなどを一緒に手伝っていただくこともある。	玄関ホールには、職員が持ってきた季節の花が飾ってあり、家庭的な雰囲気である。居間兼食堂は南向きで、大きな窓で開放感があり部屋全体が明るく温かみを感じさせる。キッチンがオープンスペースで調理の匂いもして五感の刺激になり、常に入居者と会話ができる共用空間となっている。階段が不安であれば、エレベーターを利用して安心感のある場所となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	何かを無理に強制することはないため、独りになることも、仲の良い方と過ごすことも本人の自由にしていただいている。他者に迷惑にならない範囲であれば、自由に過ごすのは当然と考えている。	何かを無理に強制することはないため、独りになることも、仲の良い方と過ごすことも本人の自由にしていただいている。他者に迷惑にならない範囲であれば、自由に過ごすのは当然と考えている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	とくに持ち込む家具類の制限をしていないため、家で使っていた家具やテレビ、好きな本などを持ってきていただいている。遠慮して持ち込まない方もいるが、自由に持ち込んでいただきたいとお話している。	とくに持ち込む家具類の制限をしていないため、家で使っていた家具やテレビ、好きな本などを持ってきていただいている。遠慮して持ち込まない方もいるが、自由に持ち込んでいただきたいとお話している。	備え付けのクローゼットがあり、部屋は整理されて在宅時と同様な家具配置にし、今迄の雰囲気が残るような配慮がなされている。ベッドは、キャンベッドや木製ベッド等、入居者が居心地良く過ごせるように配慮されている。女性の部屋には、日常使用している化粧水が置いてあり、温かい雰囲気を感じさせる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー環境で安全に過ごせるようにしている。また、手すりなどを活用していただきながら、できるだけご自身で動けるようにと支援している。	バリアフリー環境で安全に過ごせるようにしている。また、手すりなどを活用していただきながら、できるだけご自身で動けるようにと支援している。		